

2013年12月10日

メカトロニクス制御技術委員会 (MEC)

第4回メカトロニクス制御技術委員会 議事録

【日時】 : 2013年11月27日(水曜日) 14:00 - 17:30

【会場】 : 株式会社リコー リコーテクノロジーセンター C9 応接室
〒243-0460 神奈川県海老名市下今泉 810

【出席者】:

委員長: 島田 明(芝浦工大)

一号委員: 熱海武憲(HGST), 池田英俊(三菱電機), 岩崎 誠(名工大), 内村 裕(芝浦工大), 梅村
敦史(北見工大), 桂誠一郎(慶應大), 鈴木昌和(東海大), 辻俊明(埼玉大), 滑川 徹(慶應大),
平田光男(宇都宮大), 藤本博志(東大), 山口 高司(リコー), 涌井伸二(農工大)

二号委員: 大西公平(慶應大), 大石 潔(長岡技科大), 奥山 淳(東海大), 藤本康孝(横国大)

幹事: 関 健太(名工大), 名取賢二(千葉大)

幹事補佐: 佐藤 基(東洋電機製造)

オブザーバ: 南方英明(千葉工大)

【配布資料】:

- 4-0 第4回メカトロニクス制御技術委員会 議事次第
- 4-1 第3回メカトロニクス制御技術委員会 議事録(案)
- 4-2-1 メカトロニクス制御技術委員会 名簿
- 4-2-2 メカトロニクス制御技術委員会 メーリングリスト
- 4-3-1 平成26年度 活動計画(2次案)
- 4-3-2 平成25年度 メカトロニクス制御技術委員会 活動報告
- 4-4 合同研究会の運営案
- 4-5 特集号の論文募集
- 4-6-1 [WS参考資料] 2013年10月18日送付E-mailのコピー
- 4-6-2 電気学会D部門主催の新しい国際ワークショップの件
- 4-7-1 新産業基盤技術としてのモーションコントロールに関する(協)委員会 活動報告書
- 4-7-2 ナノスケールサーボのための革新的な制御技術(協)委員会 活動報告
- 4-7-3 生体運動制御(協)委員会 活動報告
- 4-7-4 実世界ハプティクス(協)委員会 活動報告

【議事】

1. 前回議事録（案）確認 資料 4-1
名取幹事より、第 3 回メカトロニクス制御技術委員会の議事録（案）の内容についての説明があり、その確認を行った。議事録（案）の通り承認した。
2. 名簿およびメーリングリストの確認 資料 4-2-1, 4-2-2
委員会名簿及びメーリングリストの確認を行った。
 - ・IIC 幹事補佐となる予定の明電舎の山口様がオブザーバとなる予定であるが、まだいずれにも掲載されていないため、確認し追加する作業が必要である。
3. 活動計画（2次案）と活動報告について 資料 4-3-1, 4-3-2
名取幹事より、活動計画（2次案）と活動報告について説明があった。
 - ・活動計画（2次案）の「研究会の開催予定」に H26. 11 開催予定の実世界ハプティクスを中心とした研究会を追加することが確認された。研究調査運営委員会には既に当該書類を提出済みのため、次回以降より反映する。
4. 平成 26 年 3 月の合同研究会の運営案について 資料 4-4
島田委員長より来年 3 月の合同研究会の運営について説明があった。
 - ・役割分担については、この案での実行可能性をきちんと整理しないと機能しないという意見が出た。
 - ・アルバイトの人選、配置、バイト代支払が大変なので注意が必要であるとの意見が出た。
 - ・受付をサポートする教員の配置時間等をきちんと決めるべきであるとの意見が出た。
 - ・藤本（康）委員より平成 24 年の懇親会費の余りを管理しているとの確認があった。⇒これらの意見を反映し、島田委員長より改めて運営案が示されることとなった
5. 特集号の論文募集について 資料 4-5
島田委員長より、平成 26 年 3 月の合同研究会で発表された論文による、電気学会論文誌 D の平成 27 年 3 月号の特集論文について紹介と投稿のお願いがあった。
6. 国際ワークショップについて 資料 4-6-1, 4-6-2
島田委員長より国際ワークショップの概要および現在までの経緯について説明があった。
 - ・予算計画について、投稿料の 50 万円ですべてをまかなうのは厳しいとの意見が出た。
 - ・査読の仕方について、委員が集まって行う方式では関係者間の制約が強すぎる（著者と査読者の研究グループが重複する）ため、検討が必要であるとの意見が出た。
 - ・WS を充実させることで英文論文誌の論文増加および引用増加の効果を期待するとの意見が出た。
 - ・100 件の発表論文をキープするには、採択率にもよるが 120～130 件の投稿がないと厳しい（ちなみに AMC2014 の投稿は約 140 件）との意見が出た。

- ・ 3月に学会が2つ続くのは現実的に厳しいとの意見が出た。
 - ・ 今後の進め方が不明瞭であるとの意見が出た。
- ⇒これらの意見を考慮した上で今後の進め方について検討することとなった。

7. 委員会報告

- 新産業基盤技術としてのモーションコントロールに関する(協)委員会 資料 4-7-1
 - ・ 第7回委員会を9月18日に千葉工業大学で開催し、2件の講演と見学会をおこなった。
 - ・ 第8回委員会を12月4日に東京大学で開催予定である。
 - ・ 第9回委員会を1月29日に産業技術総合研究所で開催予定である。
 - ・ IECON2013(Vienna)で2件のSSを開催した。
 - ・ AMC2014(Yokohama)で多数のSSの提案およびその協力をしている。
 - ・ IPEC2014(Hiroshima)で2件のOSを提案している。
 - ・ ISIE2014(Istanbul)で1件のSSを提案している。
 - ・ 浦川禎之氏(ソニー)に新委員として参加していただくこととなった。
- ナノスケールサーボのための革新的な制御技術(協)委員会 資料 4-7-2
 - ・ 第7回委員会を12月6日に長岡技術科学大学で開催予定である。
 - ・ 第8回委員会を3月に開催予定である。
 - ・ IECON2013(Vienna)で1件のSSと1件のTutorialを開催した。
 - ・ AMC2014(Yokohama)で2件のSSを提案している。
 - ・ 宮崎敏昌先生(長岡技術科学大学)と坂田晃一氏(ニコン)に新委員として参加していただくこととなった。
- 生体運動制御(協)委員会 資料 4-7-3
 - ・ 第3回委員会を11月7日に金沢工業大学虎ノ門キャンパスで開催し、3件の講演をおこなった。
 - ・ 第4回委員会を1月に開催予定である。
 - ・ IECON2013(Vienna)で1件のSSと1件のTutorialを開催した。
 - ・ AMC2014(Yokohama)で1件のSSを提案している。
- 実世界ハプティクス(協)委員会 資料 4-7-4
 - ・ 第7回委員会を11月22日にアオーレ長岡(長岡市)で開催した。
 - ・ 第8回委員会を12月25日に岐阜大学で開催予定である。
 - ・ 第9回委員会を3月に芝浦工業大学で開催予定である。
 - ・ 第10回委員会を3月に愛媛で開催予定である。
 - ・ 第11回委員会を5月に広島で開催予定である。
 - ・ 第12回委員会を7月に東京・横浜地区で開催予定である。
 - ・ 「実世界ハプティクス」と題したメカトロニクス制御研究会を11月22日にアオーレ長岡(長岡市)で開催し、16件の論文発表があった。

- ・ 平成 26 年電気学会全国大会において 3 月 20 日にシンポジウムを行う予定である。
- ・ IECON2013 (Vienna) で 1 件の SS を開催した。
- ・ AMC2014 (Yokohama) で 1 件の SS を提案している。

8. 産業応用フォーラムの開催について

島田委員長より、次回の産業応用フォーラムの計画について検討を開始してほしいと、産業応用フォーラム担当の鈴木委員、辻委員、池田委員、梅村委員に依頼があった。

<次回予定について>

今回は論文発表賞授賞式と同時開催であり、幹事から後日日程調整の連絡がある。

<連絡事項>

藤本（康）委員より、英文論文誌の SCI 登録を目指す関係で、国際会議論文で英文論文誌の引用をしてほしいとの依頼と、論文投稿数が減っているため積極的な投稿をしてほしいとのお願いがあった。

以上